

## III. 機構・職員・予算

### 1. 機構

#### A. 機構の概要

生産技術研究所は日常の業務遂行の面から、研究部と事務部とに大別される。

研究部は、運営の便宜上、5部門に分かれ、部ごとに互選による2名の常務委員がいて部の日常の業務処理に当たる。常務委員のうち1名は、部主任として部を代表する。常務委員は、常務委員会を組織し、所長の諮問機関として毎月2回、会議を開催している。研究部は研究室から成り立っており、また、その部の専門を適当に分類した専門分野表は1ページ「沿革」の項に掲げた通りである。

中間試験部は、基礎部の基礎研究として完成したもので、これを工業化へ移すための中間規模の試験研究を行なうところで、毎年各部から2名ずつ選出した委員の組織する特別研究審議委員会で研究課題を審議決定し、特別の予算をつぎこんで実施している。また受託研究の一部には中間試験研究になるものがある。

千葉実験場、試作工場および図書室は、それぞれ各部から選出する教授・助教授が委員となって組織する委員会によって運営される。それらの詳細は、前記試作工場、図書室の項を参照されたい。

本所の重要事項は教授総会で議決する。教授総会は教授・助教授によって組織され毎月1回定期に開催している。他に教官同志の知識向上をはかる輪講会が毎月1回行なわれている。

協力機関には、航研・生研連絡会議がある。

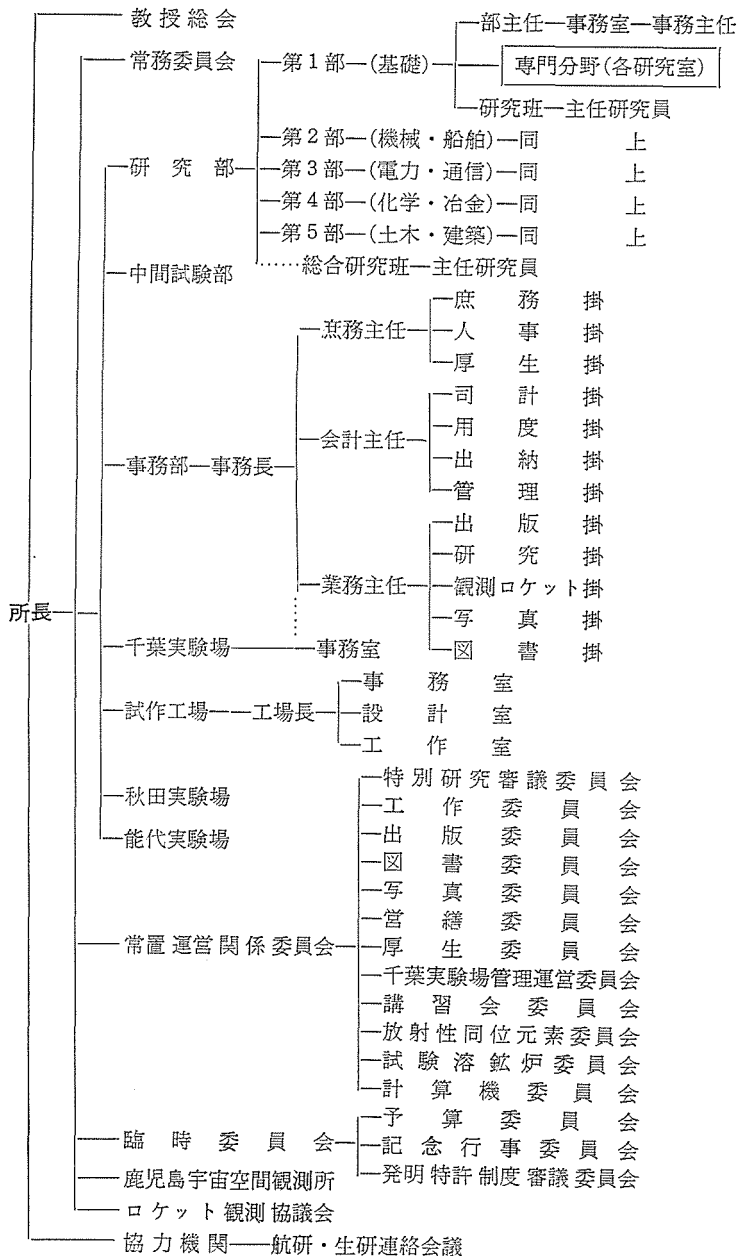
その外に、所員が、それぞれの専門の立場から、事務運営を指導し、助言する機関として、各運営委員会がある。その種類は次ページのB. 機構図にある通りで、内容は巻末の委員会諸規程を参照されたい。

### 大 学 院

本所で現在教育を受けている大学院学生は新制93名である。新制大学院は昭和28年4月から開始され、本所の関係する大学院のコースは、数物系研究科中の土木・建築・機械・精密・船舶・電気・応用物理・航空および化学系研究科中の応用化学・冶金である。

外に会社・官公庁、その他一般からの申出により、一定期間、ある事項について研究を指導する研究生の制度がある。その規定は巻末149ページにある。

## B. 機 構 図



## 2. 職 員

### A. 現 員 表 (39. 3. 31 現在)

#### a. 職種別職員数

区分	教授	助教授	講師	助手	技官	事務官	技術員	事務員	技能員	用務員	合 計
職員数	39 *12	36	4	68	68	71	85	43	38	27	497 *12

\* 印併任

#### b. 諸系統別職員数

区分	研 究 系 統							事 務 系 統			技 術 系 統			技 能 勞 務 系 統			そ の 他		合 計		
	教 授	助 教 授	講 師	研 究 担 当	研 究 員	助 手	技 官	計	事 務 官	事 務 員	計	技 術 官	技 術 員	計	技 術 官	技 術 員	用 務 員	計		日 雇 者 (乙)	計
職員数	39 *12	36	4	11	42	68	14	214	71	43	114	53	85	138	18	37	27	82	30	30	578 *12

\* 印併任

### B. 職 員 名 簿

#### 第 1 部

\* 新制による学位

官職	氏 名	卒業学 学 部 科	卒業年月日	学位取得 年 月 日	学位
教 授	岡本 舜三	東 大 工, 土木	昭 7. 3. 31	昭23. 2. 19	工
”	久保田 広	理, 物理	” 9. 3. 31	” 18. 2. 26	”
”	糸川 英夫	工, 航空	” 10. 3. 31	” 24. 1. 5	”
”	一色 貞文	” 冶金	” 11. 3. 31	” 24. 2. 14	”
”	玉木 章夫	理, 物理	” 14. 3. 31	” 26. 4. 11	”
”	大井光四郎	” 数学	” 14. 3. 31	” 37. 3. 31	”
併 任 教 授	平田 森三	” 物理	昭 3. 3. 31	” 16. 6. 15	”
”	熊谷 寛夫	” ”	” 9. 3. 31	” 14. 7. 31	”
”	池田 健	工, 航空	” 6. 3. 31	” 18. 6. 15	工
助教授	富永 五郎	理, 物理	” 17. 9. 30		

助教授	鳥飼 安生	東大 理, 物理	昭18. 9. 25	昭30. 4. 4	理
"	森 大吉郎	二工航機	昭19. 9. 5	昭36. 9. 5	工
"	山田 嘉昭	" 機械	昭20. 9. 25	昭37. 1. 22	"
"	小瀬 輝次	" 精密	昭22. 9. 30	昭36. 7. 27	"
"	秋葉鏝二郎	工, 応物	昭29. 3. 27	昭34. 10. 5	*工
"	北川 英夫	" 物理	昭21. 9. 30	昭37. 2. 3	工
講 師	伯野 元彦	" 土木	昭31. 3. 28	昭36. 3. 31	*工

## 第 2 部

教 授	小川 正義	東大 工, 造兵	昭13. 3. 31	昭25. 10. 25	工
"	鈴木 弘	" 機械	昭15. 3. 31	昭26. 4. 11	"
"	平尾 収	" "	昭14. 3. 31	昭29. 3. 17	"
"	亙理 厚	" 航空	昭11. 3. 31	昭27. 4. 4	"
"	水町 長生	" 機械	昭15. 3. 31	昭33. 8. 6	"
"	田宮 真	" 船舶	昭16. 12. 25	昭33. 5. 2	"
"	松永 正久	" 造兵	昭16. 12. 25	昭32. 8. 1	"
"	大島康次郎	" 機械	昭17. 9. 25	昭32. 7. 8	"
"	石原 智男	二工機械	昭21. 9. 30	昭30. 5. 27	"
併任 教 授	竹中 規雄	工, 機械	昭11. 3. 31	昭26. 5. 26	"
"	橘 藤雄	" "	昭11. 3. 31	昭28. 1. 29	"
"	千々岩健児	" 機械	昭19. 9. 25	昭32. 1. 13	"
"	安藤 良夫	二工船舶	昭20. 9. 25	昭35. 8. 13	"
助教授	檀村 恒義	" 機械	昭19. 9. 25	昭36. 12. 22	"
"	高橋 幸伯	" 船舶	昭21. 9. 3	昭37. 1. 22	*工
"	柴田 碧	工, 機械	昭28. 3. 28	昭33. 3. 29	工
"	森 政弘	名大 工, 電氣	昭25. 3. 17	昭34. 4. 27	"
"	川井 忠彦	東大 工, 船舶	昭27. 3. 28	昭37. 3. 31	"
"	佐藤 寿芳	" 機械	昭33. 3. 28	昭38. 3. 29	*工
"	棚沢 一郎	" "	昭33. 3. 28	昭38. 3. 29	*"

### 第 3 部

教授	藤高 周平	東工, 大電	昭 5. 3. 31	昭17. 12. 24	工
"	高木 昇	" "	" 6. 3. 31	" 17. 5. 15	"
"	森脇 義雄	" "	" 8. 3. 31	" 22. 6. 23	"
"	沢井善三郎	" "	" 10. 3. 31	" 25. 5. 31	"
"	斎藤 成文	" "	" 16. 12. 25	" 26. 8. 20	"
"	野村 民也	二工 "	" 20. 9. 25	" 34. 11. 20	"
"	渡辺 勝	理, 物理	" 16. 12. 25	" 34. 12. 9	理
"	尾上 守夫	二工電氣	" 22. 9. 30	" 30. 6. 30	工
"	安達 芳夫	" "	" 19. 9. 25	" 39. 3. 16	*工
併任教授	後藤 以紀	工 "	" 2. 3. 31	" 9. 4. 5	工
助教授	浜崎 襄二	" "	" 28. 3. 28	" 33. 9. 15	*工
"	河村 達雄	" "	" 29. 3. 28	" 34. 3. 30	工
"	山口 楠雄	" "	" 32. 3. 28	" 37. 3. 31	*工
"	高羽 禎雄	" "	" 33. 3. 28	" 38. 3. 29	"
"	安田 靖彦	" "	" 33. 3. 28	" 38. 3. 29	"
講師	後川 昭雄	" "	" 27. 3. 28	" 37. 1. 22	工

### 第 4 部

教授	高橋 武雄	東工, 大応化	大15. 3. 31	昭16. 3. 24	工
"	福田 義民	" "	昭 3. 3. 31	" 20. 11. 7	"
"	永井 芳男	" "	" 5. 3. 31	" 21. 11. 7	"
"	菊池 真一	" "	" 8. 3. 29	" 23. 6. 3	"
"	江上 一郎	" 冶金	" 10. 3. 31	" 24. 2. 14	"
"	浅原 照三	" 応化	" 14. 3. 31	" 29. 8. 19	"
"	加藤 正夫	" 冶金	" 15. 3. 31	" 27. 7. 7	"
"	野崎 弘	" 応化	" 14. 3. 31	" 32. 11. 15	"
"	雀部 高雄	" 冶金	" 11. 3. 31	" 36. 5. 18	"
"	山辺 武郎	" 応化	" 15. 3. 31	" 31. 12. 20	"

併任	祖父江 寛	東大	昭 4. 3. 31	昭16. 8. 4	理
教	山本 寛	工, 応化	" 13. 3. 31	" 27. 4. 4	工
"	松下 幸雄	" 冶金	" 17. 9. 25	" 32. 3. 22	"
助教授	中村 亦夫	" 応化	" 16. 12. 25	" 39. 1. 13	"
"	武藤 義一	" "	" 16. 12. 25	" 37. 3. 5	"
"	今岡 稔	" "	" 16. 12. 25	" 36. 6. 30	"
"	西川 精一	二工冶金	" 19. 9. 25	" 36. 7. 31	"
"	原 善四郎	" "	" 19. 9. 25	" 37. 3. 19	"
"	後藤 信行	" 応化	" 19. 9. 25	" 36. 10. 26	"
"	河添邦太朗	" "	" 19. 9. 25		
"	館 充	" 冶金	" 20. 9. 25	" 36. 11. 1	"
"	早野 茂夫	" 応化	" 23. 3. 31	" 39. 1. 13	"
講 師	明石 和夫	" 冶金	" 26. 3. 31		

## 第 5 部

教 授	星野 昌一	東大	昭 6. 3. 31	昭20. 9. 24	工
"	坪井 善勝	工, 建築	" 7. 3. 31	" 16. 11. 29	"
"	星埜 和	" 土木	" 9. 3. 31	" 22. 8. 21	"
"	丸安 隆和	" "	" 14. 3. 31	" 26. 11. 26	"
"	勝田 高司	" 建築	" 15. 3. 31	" 27. 1. 25	"
"	久保慶三郎	二工土木	" 20. 9. 25	" 37. 2. 20	"
併任	関野 克	工, 建築	" 8. 3. 31	" 20. 9. 24	"
教	高山 英華	" "	" 9. 3. 31	" 24. 7. 30	"
助教授	井口 昌平	" 土木	" 16. 12. 25		
"	池辺 陽	" 建築	" 17. 9. 25	" 37. 3. 27	"
"	三木五三郎	二工土木	" 19. 9. 25		
"	田中 尚	" 建築	" 21. 9. 30	" 31. 2. 20	"
"	石井 聖光	" "	" 22. 9. 30	" 35. 4. 9	"
"	村松貞次郎	" "	" 23. 3. 31	" 36. 9. 5	"
"	小林 一輔	工, 土木	" 29. 3. 31		

事務部・試作工場

事務長	白方 之次	日大法大 東文法大 工, 機	昭 6. 3. 31		
工場長 (併任)	鈴木 正吾 (第2部講師)		" 14. 3. 31		

年 間 異 動

官 職	氏 名	発令年月日	備 考
総理府技官	川井 忠彦	38. 4. 1	本所助教授に転任
	棚沢 一郎	"	助教授に採用
	佐藤 寿芳	"	"
	高羽 禎雄	"	"
	安田 靖彦	"	"
助 教 授	黒川 兼行	38. 5. 7	海外における研究に従事の為、休職
	元 教 授 福田 武雄	38. 5. 21	東京大学名誉教授の称号を授与
教 授	山本 寛	38. 6. 1	本学工学部に配置換、本所併任
講 師	富成 襄	38. 6. 30	辞 職
"	久保慶三郎	38. 7. 1	教授に昇任
助 教 授	山辺 武郎	38. 8. 1	"
講 師	小林 一輔	"	助教授に昇任
教 授	竹中 規雄	38. 10. 1	本学工学部に配置換、本所併任
"	橋 藤雄	"	"
工学部助手	明石 和夫	"	本所講師に昇任
講 師	早野 茂夫	38. 10. 10	助教授に昇任
助 教 授	浜崎 襄二	38. 10. 24	復 職
"	黒川 兼行	38. 11. 5	辞 職
"	大島康次郎	38. 12. 1	教授に昇任
"	石原 智男	"	"
講 師	北川 英夫	39. 1. 1	助教授に昇任
授 授	高橋 武雄	39. 3. 31	停年退職
併任教教	祖父江 寛	"	" (工学部)

C. 旧 職 員

名誉教授	故 井口 常雄,	瀬藤 象二,	故 友田 宜孝,	谷 安正,	星合 正治
	岡 宗次郎,	渡辺 要,	福田 武雄		
元 教 授	故 森田 三郎,	故 茂木 武雄,	故 吉川 晴十,	菱川万三郎,	吉原 英夫
	松本 良一,	故 釘宮 磐,	岩崎 富久,	故 竹中 二郎,	清水 菊平
	浅岡 勝彦,	石川 政吉,	山県 昌夫,	福田 節雄,	南波松太郎

	故 増野 実,	谷 一郎,	河村 正弥,	沼田 政矩,	故 小野 薫
	高橋 安人,	故 宮津 純,	兼重寛九郎,	金森 九郎,	故 末岡 清市
	高橋 武雄				
元助教	故 原 正人,	吉村 慶丸,	堀 武男,	渡辺 慧,	佐藤 正彦
	故 内田 祥文,	渡辺 正雄,	高木 豊,	沢田 正二,	高月 竜男
	豊田 利幸;	故 青木 洋,	故 高尾 一郎,	田中 一彦,	元良 誠三
	中西 邦雄,	故 桑井 源禎,	小川 岩雄,	江口 雅彦,	石井 義郎
	久松 敬弘,	仁木 栄次,	浜口 隆一,	丹羽 登,	黒川 兼行
元 技 官	佐藤 敬夫,	中村 康治,	藤森 栄二,	橋爪 伸,	富成 襄
元 講 師	鈴木 弥孝				
元事務長					

### 3. 決算と予算

#### A. 昭和 37 年度歳出決算額

	金 額	百分率 %	
総 額	820,128,193	100.00	
人 件 費	244,249,039	29.78	
物 件 費	575,879,154	70.22	100.00
各研究部研究費	91,443,860	11.15	15.88
特 別 研 究 費	22,367,700	2.73	3.88
受 託 研 究 費	23,200,000	2.83	4.03
受 託 研 究 員 費	1,100,000	0.13	0.19
大学院学生経費	1,120,800	0.14	0.19
溶鉱炉運転費	4,596,300	0.56	0.80
設 備 費	10,367,700	1.26	1.80
図 書 購 入 費	3,950,000	0.48	0.69
出 版 費	3,771,644	0.46	0.65
試作工場経費	3,450,000	0.42	0.60
職員厚生経費	441,900	0.05	0.08
観測ロケット経費	389,419,000	47.48	67.62
移 転 経 費	9,949,550	1.21	1.73
そ の 他 の 経 費	10,700,700	1.30	1.86

#### B. 昭和 38 年度歳出予算額

	金 額	百分率 %	
総 予 算 額	950,881,100	100.00	
人 件 費	250,000,000	26.29	



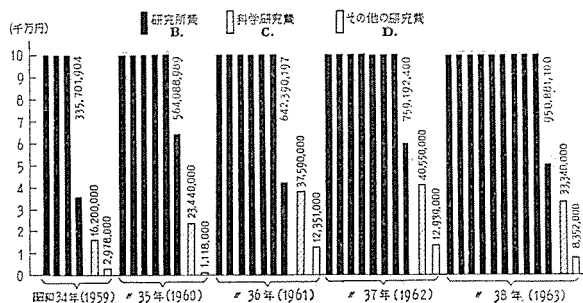
物件費	700,881,100	73.71	100.00
各研究部研究費	64,918,000	6.83	9.26
特別研究費	18,000,000	1.89	2.57
受託研究費	12,550,000	1.32	1.79
受託研究員費	3,100,000	0.33	0.44
大学院学生経費	2,154,900	0.23	0.31
溶鉱炉運転費	4,596,300	0.48	0.66
設備費	196,600	0.02	0.03
図書購入費	5,280,000	0.56	0.75
出版費	4,500,000	0.47	0.64
試作工場経費	4,397,000	0.46	0.63
観測ロケット経費	519,565,000	54.64	74.13
職員厚生経費	493,700	0.05	0.07
その他の経費	61,129,600	6.43	8.72

C. 文部省科学研究費関係 (昭和 38 年度)

総額	33,340,000円
機関研究	12,520,000
各個研究	2,270,000
総合研究	9,190,000
試験研究	9,360,000

D. その他の研究費 (昭和 38 年度)

委員会および諸団体より	8,352,000円
総計 (B + C + D)	992,573,100円



最近5ケ年間の諸経費増減比較表